

# ハイグレード・オセアニア・ ボンド・オープン (年2回決算型) (愛称：<sup>あんず</sup>杏<sup>み</sup>の実 (年2回決算型))

&lt;3105&gt;

追加型投信／海外／債券  
日経新聞掲載名：杏の実2

第21期 2019年5月15日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、オーストラリア・ドル建ておよびニュージーランド・ドル建ての公社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第21期末	基準価額	18,250円
	純資産総額	333百万円
第21期	騰落率	△4.1%
	分配金	10円


(注) 騰落率は分配金(税込み)を含めて計算したものです。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

**UD  
FONT**

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

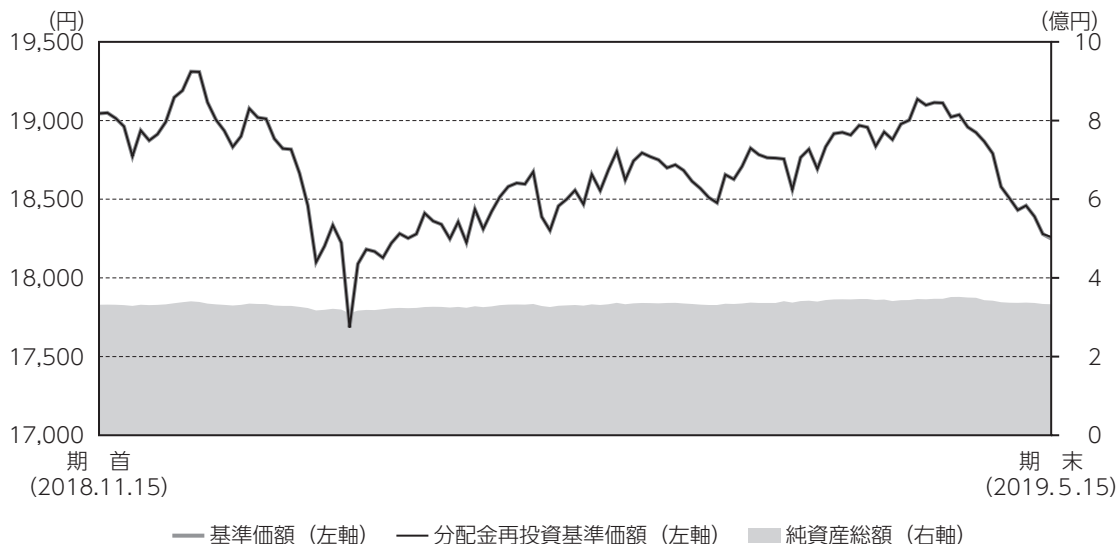
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：19,045円

期末：18,250円 (分配金10円)

騰落率：△4.1% (分配金込み)

#### ■ 基準価額の主な変動要因

投資している債券の利息収入や債券価格の上昇が基準価額のプラス要因となりましたが、オセアニア通貨が円に対して下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2018.11.16~2019.5.15)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	125円	0.667%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は18,679円です。
(投 信 会 社)	(50)	(0.267)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(70)	(0.374)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(5)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	3	0.019	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	128	0.686	

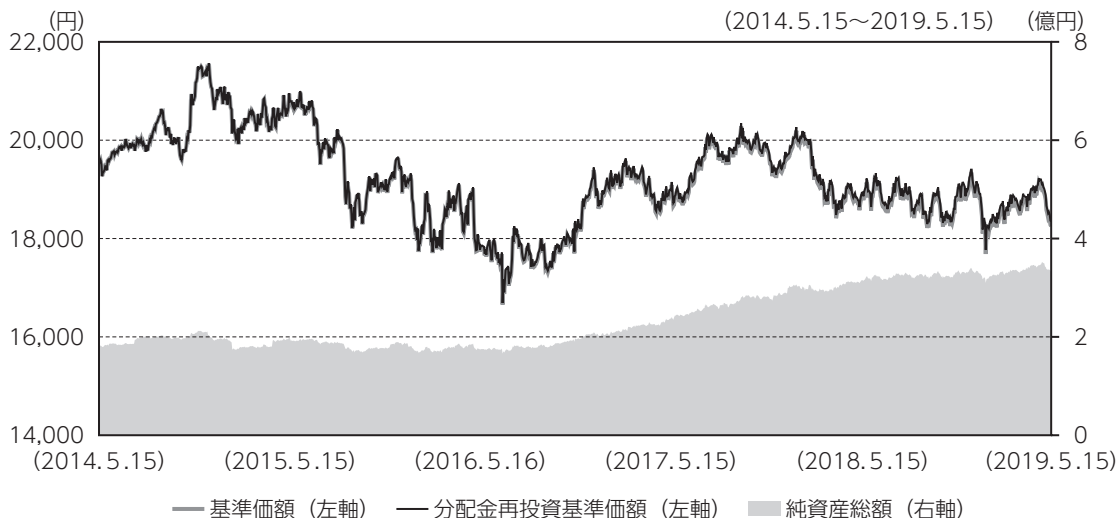
(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



	2014年5月15日 期初	2015年5月15日 決算日	2016年5月16日 決算日	2017年5月15日 決算日	2018年5月15日 決算日	2019年5月15日 決算日
基準価額 (円)	19,617	20,769	17,738	18,924	18,859	18,250
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	20	20	20	20	20
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	6.0	△14.5	6.8	△0.2	△3.1
FTSEオーストラリア国債インデックス (円換算) 騰落率 (%)	—	8.7	△12.1	6.4	0.8	0.8
FTSEニュージーランド国債インデックス (円換算) 騰落率 (%)	—	8.8	△10.4	7.5	1.2	2.3
純資産総額 (百万円)	182	197	174	237	315	333

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) FTSEオーストラリア国債インデックス (円換算) およびFTSEニュージーランド国債インデックス (円換算) は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

(注3) FTSEオーストラリア国債インデックス (円換算) は、FTSEオーストラリア国債インデックス (オーストラリア・ドルベース) をもとに大和投資信託が円換算したものです。

(注4) FTSEニュージーランド国債インデックス (円換算) は、FTSEニュージーランド国債インデックス (ニュージーランド・ドルベース) をもとに大和投資信託が円換算したものです。

(注5) FTSEオーストラリア国債インデックス (オーストラリア・ドルベース) およびFTSEニュージーランド国債インデックス (ニュージーランド・ドルベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注6) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注7) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は最近で知り得るデータを使用しております。

## 投資環境について

(2018.11.16~2019.5.15)

### ■オセアニア債券市況

オセアニア債券市況は、当作成期を通して金利は低下（債券価格は上昇）しました。

当作成期首より、株価や原油価格が下落し市場のリスク回避姿勢が強まる場面が見られたことや、F R B（米国連邦準備制度理事会）が利上げを一時停止する姿勢を示したことなどを受けて、金利は低下傾向となりました。また R B A（オーストラリア準備銀行）が金融政策の姿勢を引き締め方向から中立に修正したことや、R B N Z（ニュージーランド準備銀行）が利下げを実施したことなども、金利の低下材料となりました。

### ■オセアニア為替相場

オセアニア通貨は、当作成期を通して下落（円高）しました。

当作成期首より、株価や原油価格が下落し市場のリスク回避姿勢が強まったことなどから、円高オセアニア通貨安となりました。しかし2019年1月に入ると、F R B（米国連邦準備制度理事会）が景気に配慮した金融政策を行うとの期待が市場で高まり、市場のリスク選好姿勢が回復したことなどから、円安オセアニア通貨高に転じました。4月半ば以降は、オセアニア両国のC P I（消費者物価指数）が市場予想を下回ったことや米中通商交渉への懸念が高まったことなどから、円高オセアニア通貨安となりました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「ハイグレード・オセアニア・ボンド・マザーファンド」の受益証券に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

### ■ハイグレード・オセアニア・ボンド・マザーファンド

主として、オーストラリア・ドル建ておよびニュージーランド・ドル建ての公社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

ポートフォリオにつきましては、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度でコントロールします。クレジットリスクについては、国債、州債、国際機関債、政府機関債などの銘柄でリスクを回避する運用を継続していく予定です。

## ポートフォリオについて

(2018.11.16~2019.5.15)

### ■当ファンド

主として「ハイグレード・オセアニア・ボンド・マザーファンド」の受益証券に投資しました。

### ■ハイグレード・オセアニア・ボンド・マザーファンド

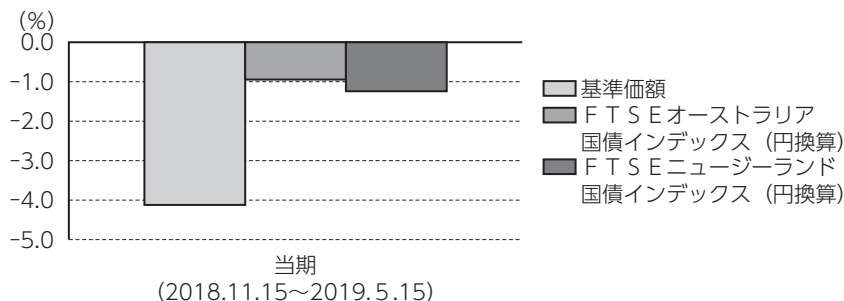
主として、オーストラリア・ドル建ておよびニュージーランド・ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

金利変動リスクを表す修正デュレーションについては、3（年）程度から5（年）程度でコントロールしました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2018年11月16日 ～2019年5月15日	
<b>当期分配金（税込み）</b>	<b>（円）</b>	<b>10</b>
対基準価額比率	（%）	0.05
当期の収益	（円）	10
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	12,707

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	232.25円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		10,558.99
(d) 分配準備積立金		1,926.03
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		12,717.28
(f) 分配金		10.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		12,707.28

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「ハイグレード・オセアニア・ボンド・マザーファンド」の受益証券に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

### ■ハイグレード・オセアニア・ボンド・マザーファンド

主として、オーストラリア・ドル建ておよびニュージーランド・ドル建ての公社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

ポートフォリオにつきましては、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度でコントロールします。クレジットリスクについては、国債、州債、国際機関債、政府機関債などの銘柄でリスクを回避する運用を継続していく予定です。



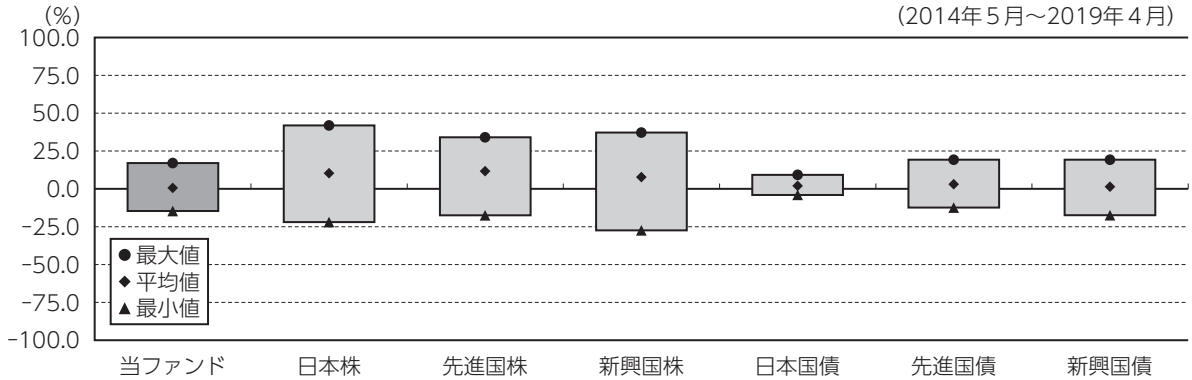
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ハイグレード・オセアニア・ボンド・マザーファンドの受益証券
	ハイグレード・オセアニア・ボンド・マザーファンド	内外の公社債等および短期金融商品
マザーファンドの運用方法	<p>①主としてオーストラリア・ドル建およびニュージーランド・ドル建の公社債（各種の債権や資産を担保・裏付けとして発行された証券を含みます。以下「公社債等」といいます。）ならびにコマーシャル・ペーパー等の短期金融商品に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②公社債等への投資にあたっては、以下のような点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。</p> <p>イ. 投資対象の格付けは、取得時においてA A格相当以上（ムーディーズでA a 3以上またはS &amp; PでA A-以上もしくはフィッチでA A-以上）とすることを基本とします。</p> <p>ロ. 投資する公社債等は、国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関等、もしくはそれらに準ずると判断される機関およびそれらの代理機関等が発行・保証するものとします。</p> <p>ハ. ポートフォリオの修正デュレーションは、3（年）程度から5（年）程度の範囲を基本とします。</p> <p>ニ. 金利リスク調整のため、オーストラリア・ドル建およびニュージーランド・ドル建の国債先物取引等を利用することがあります。</p> <p>③オーストラリア・ドル建公社債等とニュージーランド・ドル建公社債等の投資比率は、それぞれの債券市場の規模などを勘案して決定します。</p> <p>④為替については、オーストラリア・ドル建およびニュージーランド・ドル建の資産の投資比率の合計を信託財産の純資産総額の100%に近づけることを基本とします。</p> <p>⑤有価証券取引、為替・短期資金取引の相手方の選定は、委託会社の社内規則に則って行ないます。</p>	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	





## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	17.1	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
平均値	0.7	10.4	11.7	7.8	2.0	3.1	1.4
最小値	△14.6	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※資産クラスについて

日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマーキング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマーキング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●TOPIXは東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマーキング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマーキング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.



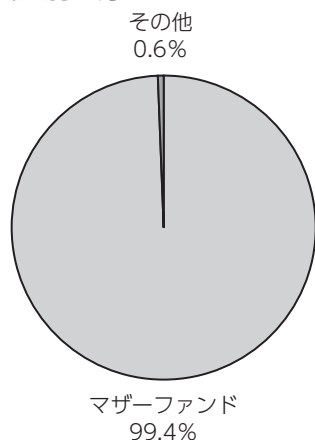
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

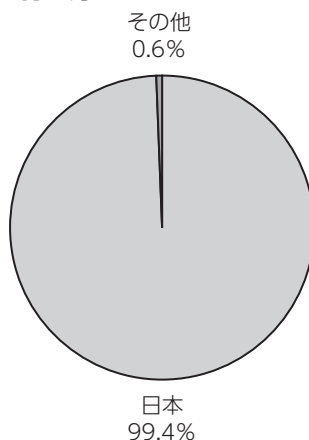
### 組入ファンド等

	比率
ハイグレード・オセアニア・ボンド・マザーファンド	99.4%
その他	0.6%

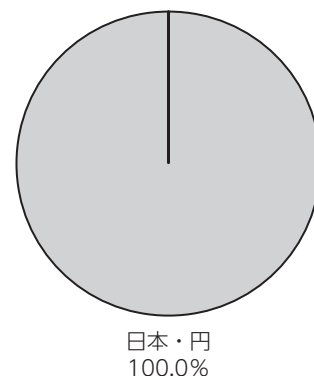
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 上記データは2019年5月15日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

## 純資産等

項目	当期末
	2019年5月15日
純資産総額	333,182,245円
受益権総口数	182,565,039口
1万口当り基準価額	18,250円

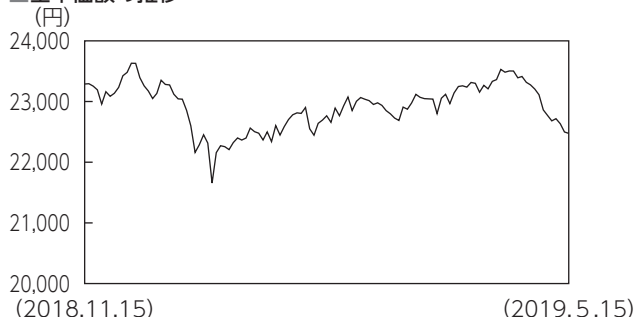
\*当期中における追加設定元本額は19,434,148円、同解約元本額は11,130,169円です。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

## 組入上位ファンドの概要

### ◆ハイグレード・オセアニア・ボンド・マザーファンド（作成対象期間 2018年11月16日～2019年5月15日）

#### ■基準価額の推移



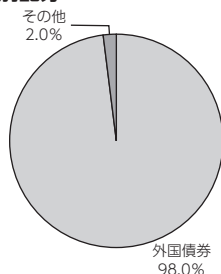
#### ■1万口当りの費用の明細

項	目	
売買委託手数料		—円
有価証券取引税		—
その他費用 (保管費用)		3 (3)
(その他)		(0)
合	計	3

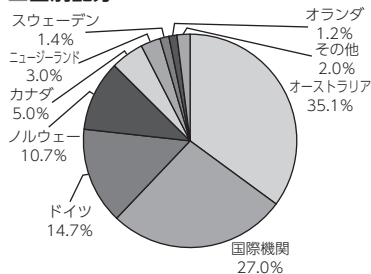
#### ■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
KOMMUNALBANKEN 4.5% 2022/7/18	オーストラリア・ドル	5.3%
AFRICAN DEVELOPMENT BK. 5.25% 2022/3/23	オーストラリア・ドル	4.5
TREASURY CORP VICTORIA 5.5% 2026/11/17	オーストラリア・ドル	3.2
QUEENSLAND TREASURY CORP. 2.75% 2027/8/20	オーストラリア・ドル	2.8
QUEENSLAND TREASURY CORP. 4.25% 2023/7/21	オーストラリア・ドル	2.6
LANDWIRTSCHAFT RENTENBANK 5.5% 2020/3/9	オーストラリア・ドル	2.4
COUNCIL OF EUROPE 6.0% 2020/10/8	オーストラリア・ドル	2.4
KOMMUNALBANKEN 4.5% 2023/4/17	オーストラリア・ドル	2.3
BRITISH COLUMBIA 4.25% 2024/11/27	オーストラリア・ドル	2.3
QUEENSLAND TREASURY CORP. 3.5% 2030/8/21	オーストラリア・ドル	2.2
組入銘柄数	90銘柄	

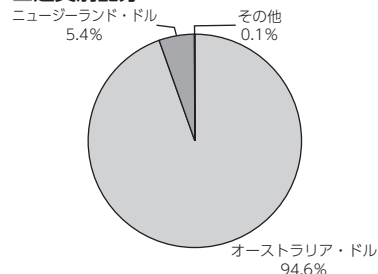
#### ■資産別配分



#### ■国別配分



#### ■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のもです。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

大和投資信託

---

Daiwa Asset Management